

一般社団法人 日本ダイバーシティ推進協会 第4期事業計画

期間 2014年10月1日～2015年9月30日

1. 活動基本方針

【共違事業体への挑戦】

「違いを価値に変える」を理念に、就労困難者の社会資源化（納税者化）をビジョンに描き、第4期から第6期にわたっては、「多様な働き方」の推進を通じて「ダイバーシティ」の推進を図る。

したがって「就労」というのは「就職」や「就業」だけを意味するのではなく、「ボランティア活動」「中間的就労」「起業」もひとつの手段として支援対象としていく。

働き方の多様化を推進することは、それぞれの活かし方、活かされ方の仕組みの提案であり、自らの組織においても体现していくことが求められる。

予算規模として、一定の「組織化」が必要となってきたが、この分岐点で、どう私たちが柔軟で多様性を生かしきれる組織体（共違事業体）になれるかが向う3年のチャレンジでもある。

引き続き、「コミュニケーション創造」の事業ドメインにおいて、違いを価値に変える3ステップにのっとり、事業の展開を図る。

- (1) 違いを知る…居場所提供事業、共感留学プログラム事業等
- (2) 違いを認める…コミュニケーション研修等
- (3) 違いを生かす…障害者起業促進、中間的就労等

2. 事業運営方針

以下の三つの柱で事業全体の収支のバランスを取る「社会的事業モデル」として取り組む。

- (1) 自主財源の拡大…自主事業（寄付を含む）を7割、委託事業等を3割の財源バランスを維持し、委託事業の採択の可否に影響されない資金基盤をつくる。
- (2) 無料サービスの提供…生活困窮の方には、無料でサービスを受けていただきながら、スタッフや専門家には謝礼が出るような予算組を図る。
- (3) 助成金からの離脱…第4期は既存の助成事業以外の助成金には積極的に応募せず、自主事業の発展に資源を投入する。

3. 具体的な事業の取り組み

- (1) コミュニケーション研修事業（3,888,000円）

引き続き自主財源の確保は、共同代表による講演、研修による収益から得る。

- ① 認定ダイバーシティ・コーディネータ養成講座の実施 100,000円/人×1.08=540,000円

- ② NSA 高等学院コミュニケーションコースの受託 25,000 円/h×60 時間×1.08=1,620,000 円
- ③ 企業、事業所等での社員研修の受託 25,000 円/h×40 時間×1.08=1,080,000 円
- ④ ダイバーシティ推進を図る自主セミナー、シンポジウムの開催 208,000 円
- ⑤ NPO 法人 E.L.L Creation との障害者委託訓練「就労準備コミュニケーションコース」の連携実施 440,000 円

(2) 共感留学プログラム事業（共感留学基金＝寄付運営）

制度に依存しない中間的就労の場づくりに向けて、コンテンツとしての運営から徐々に居場所提供事業との統合を図っていく。

- ① 前期：自分との信頼関係の創り方講座
- ② ・第5期開催…共感留学プログラム2014と並行開催の講座（平成26年11月～平成27年3月）
・第6期開催…共感留学プログラム2015の準備講座（平成27年4月～平成27年9月）
- ② 後期：共感留学プログラム2014（平成26年10月～平成27年3月、事業指定プログラムミエルカ助成での運営）
- ③ ネット配信連動型ファンドレイジング（平成27年4月予定）

(3) 就労支援・相談事業

- ① 障害者起業促進事業（平成27年4月開始予定）
- ② 居場所提供事業～名古屋市若年者自立支援サテライト事業（3,397,010 円）
- ③ なごや就労支援推進プロジェクト～名古屋市就労訓練事業の推進モデル事業（3,864,000 円）
（解説）

一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト、特定非営利活動法人起業支援ネットとのコンソーシアム（なごや就労支援推進プロジェクト）で再び採択を目指す。

中間的就労のコーディネート、事業書内の環境設定等のノウハウをコーディネータ養成やコンサルティング業務へ展開することを狙う。

(4) その他の事業

名古屋まちづくり助成による、音地図プロジェクト（～平成27年3月）

3. 法人運営（会員制）の変更

(1) 会員メニューの多様化

- ① アントレ会員（仮）（障害者起業家会員）の制定
モニター会員として月額 3,000 円（一括割引あり）のアントレ会員を募集する。
アントレ会員は、障害者起業家とし、事務書のポストとスペース共有ができるものとする。

- ② パートナー会員（仮）（現在の個人・法人会員） 年会費 個人 10,000 円 法人 20,000 円
- ③ スポンサー会員（月額一口 500 円・議決権なし）

4. 運営態勢について

（１）事業従事態勢

- ・コミュニケーション研修事業…肥後、久保、その他 JDNA の会員講師のみなさま
- ・共感留学プログラム…肥後、認定ダイバーシティ・コーディネータ及び、会員講師のみなさま
- ・障害者起業促進事業…久保他 5 ～ 1 0 名
- ・居場所提供事業…三治、寺澤、竹内、別府、佐藤、都築、谷口、平松、本保、倉橋（久保、肥後）
- ・中間的就労事業…寺澤、竹内、亀沖、久保、三瀬、村上、東畑

（２）事務局態勢

経理、総務の安定を図るため、一般社団法人 SR 連携プラットフォーム森氏に、引き続き事務局業務を広くお任せする。

また、平松氏に平成 2 6 年 1 2 月より財務会計業務に従事していただく。

以 上